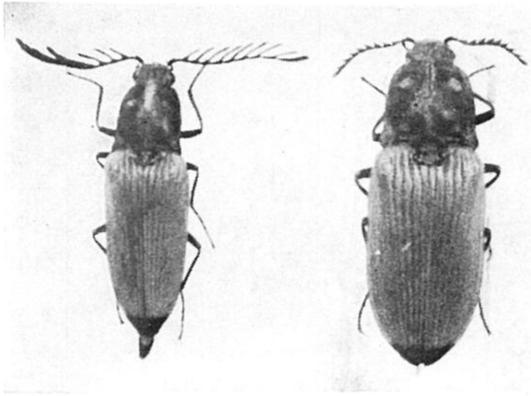


稿 KŌCHŪ 虫

ツマグロヒラタコメツキの採集例

下山 健作

ツマグロヒラタコメツキ *Anostirus castaneus japonicus* KISHII et OHIRA の♂は日本では採集例を聞かないようなので、筆者の手元にある記録を発表しておく。



ツマグロヒラタコメツキ(左:♂, 右:♀)

2♂♂, 青森県南津軽郡平賀町矢捨山, 2. V. 1975, 佐藤明採集

道路脇のミズナラやケヤキの新芽に午前10時から午後2時頃までの間飛来した個体とのことで、同時に♀も採集されたという。

末筆ながら、貴重な標本を恵与された佐藤明氏および色々ご教示下さった馬場金太郎, 中条道夫, 大平仁夫の諸先生に厚くお礼申し上げたい。

(〒036-01 南津軽郡平賀町大字柏木町字藤山34-35)

石垣島未記録のコブハムシ

今坂 正一

屋久島から沖縄本島までの南西諸島からは、従来、ヤクシマコブハムシ *Chlamisus yakushmanus* (四国, 屋久島, 沖縄本島), ハバビロコブハムシ *C. japonicus* (本州, 九州, 屋久島, 奄美大島), アマミコブハムシ *C. geniculatus* (屋久島, 種子島, 奄美大島, 徳之島, 沖縄本島) の3種の *Chlamisus* (コブハムシ属) が知られていたが、石垣島を含む先島諸島からはこの属の種の記録はなかった。

筆者は次の2種を石垣島より確認したので、ここに記録しておく。貴重な標本を恵与された多比良嘉信, 酒井案理, 山地治の3氏に心よりお礼申し上げたい。

1. ヤクシマコブハムシ (写真左)

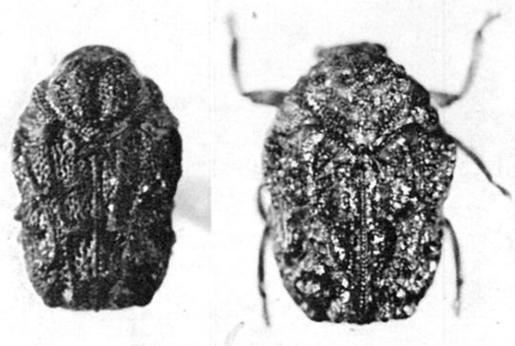
Chlamisus yakushmanus OHNO

1 ex., 石垣島オモト岳, 1. IV. 1974, 多比良採集
屋久島産の個体より記載された種で、コブハムシ類中では例外的に表面の凹凸が少なく、前胸中央に縦溝があるため他種との区別はたやすい。筆者は石垣島以外で得られた本種を見ていないが、原記載を見るかぎりでは石垣島産の個体は前胸および上翅の隆起がより強く点刻も大きく密である点などで、他産地の個体とは区別できそうである。

2. ハバビロコブハムシ (写真右)

C. japonicus (JACOBY)

1 ex., 石垣島オモト岳, 5. IV. 1973, 酒井採集
3 exs., 石垣島オモト岳, 7. IV. 1974, 山地採集
本種は本州から奄美大島まで産し、シイ類の生葉で採集される。石垣島産の個体は本土産の個体より、大きく色は明るく(赤褐色), 尾節板の形態にも差異が認められる。



左:ヤクシマコブハムシ 右:ハバビロコブハムシ

上記2種は、詳細に調べれば将来別亜種として区別されるべきものかもしれないが、今回は分布の記録にとどめておくことにしたい。

1. S. KIMOTO (1964): Jour. Fac. Agr. Kyushu Univ., 13(1): 141-164.

2. S. KIMOTO & L. GRESSITT (1966): Pacific Insects, 8(2): 467-577.

(〒855 島原市白土町1064)

埼玉県でケブカヒラタカミキリを採集

平井 勇

ケブカヒラタカミキリ *Nothorhina punctata* (FABRI-